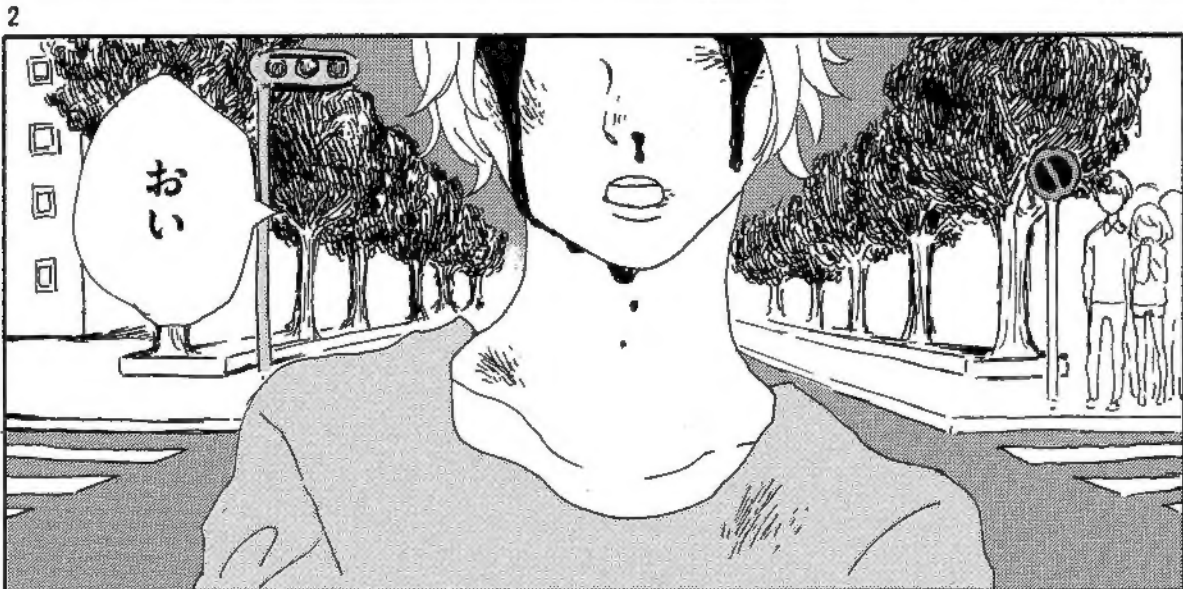
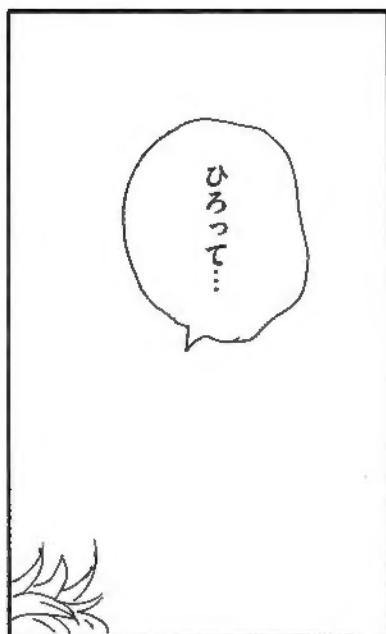
三途の川でワルツを
審査員・萩尾望都氏絶賛！
「話がおもしろい。生き生きとした会話がおもしろい！ 才能のある方だと思います」
今日もオレは
昼過ぎに起きて
いつものコンビニに昼飯を
買いに行く途中だった
いつも通る交差点の
近くで子供が遊んでた
起き上がってはダメだ
危ねぇなーって
思ってたら
やっぱりだ
そう
そこのお前だよ
久野田ショウ
アフタヌーン四季賞
2015年秋のコンテスト
審査員特別賞
受賞作品

今日もいつものように何事もなくオレはクズのまま終わるハズだった。

※この物語はフィクションです。

作者近況

久野田ショウ

普段はただの会社員です。自画像は会社の先輩に描いて頂きました。先日占いに行き、作家名を鑑定して頂いたところ「すごい！　画数悪すぎ！　四大凶のうちの三つが入ってる！」と言われました。

ザクザク
早く!
担架を!
ザクザク
すごい血
ピーポーピーポー
ザッザッ
頭が痛い…

三途の川でワルツを　「丁寧な作りができていて、才能のある方だと思いました」(萩尾望都氏)

5

もしかして

オレ死んだ？

車に轢かれて
頭打って
そのまま…?

いや

ここは死ぬ一歩手前の
三途の川ってやつじゃ
ないのか?

DEAD
RIVER
ALIVE
それなら川の
向こう岸に渡ると
死ぬって話を
聞くから
反対側に行けば
現世に戻れるんじゃ
ないのか?

そうだよ
そうすれば
オレは元の
生活に…

6

コウイチ

どこにも就職できなかった
なんてこれからどうする
つもりなの!?
母さんたちに
恥かかせないでよ

全てあなたの努力が
足らなかったせいでしょ?

ガッ

ベチャ

…え？
ガバッ

なんだ？

何かに足を
つかまれた？

え!?
なに!?
な
バッ

うわ!

ベチン

君!
え!? ハイ!?
ガバッ

だめだよ
川に近づいちゃ
川を渡ると
死んじゃうんだよ!?

知ってる

知ってるから
行こうとした

10

オレが生きていても
何の価値もないからだよ

…でも
僕は君に会えて嬉しいよ
え…? なんで?

11

こんな寂しい場所だから
人に会えて嬉しい

嬉しい？
これから死ぬのに？

そうだね

でも死ぬからこそ僕はやり残したことがないようにしたいと思ってる

バッ

何それ…

僕の
死ぬ前にやりたいことリストです

まぁこんな所でできることは限られているので体を使った簡単なことなんですけど

側転とか水切りとかまではできて
スキップ
ダンス
もうすぐ終わりそうなんだけどこれ!! このスキップができなくて困ってます

ちなみに君はスキップできますか?
なんだこの会話
え? まぁ…

パァッ
え ホント!?

じゃあ僕にスキップを教えてください!!
ガッ

ハァ!?

いやいや…
意味わからない
バシッ
こんな所でスキップ？
どこからツッコんで
いいかわからない

死ぬ前に
やりたいことが
スキップ…？
別にできなくて
いいと
思うけどなー
死ぬし
大体なんで
こんな所で
倒れてたの？
えー
そんなに
言う？

ちょっと
飽きちゃって
寝てたんだ
お前いつから
それやってるの？

大体
2週間くらい
かな！

ガラッ

何もないけど
どうぞ

うわ…
本当に三途の川に
住んでいるのかよ

空き家だから勝手に
使っているんだけど
案外悪くないよ

静かだし
自由だし
よく
こんなとこ
住めるな

はい
水だけど
飲んで大丈夫
なのか…?

よっ

で

君は何をしていた
人なの?

16

……

自宅警備員

え
警備員?
すごいね
いや
そのままの
意味で
受けとる
なよ

無職ってことだよ

何もしてなかったんだ

……
僕も同じだ

じゃあこれからやりたいこと考えようよ

死ぬ前にね

こんな所でやりたいことなんてあるかよ
それにやりたいこととできることは別だ
ガキは気楽でいいな

……
子供相手に大人気なかったたな

17

ニートさん!!
ダダダダ

ニートさん!!
すいませんでしたー
ダダダ

あの…
間違ってはないけどその呼び方やめてくんない？
あ はい

じゃあ名前を教えてください
僕はユウ 君は？
…コウイチ

コウイチ
コウイチ
わかった

コウイチ
君も川を渡るだけならば
いずれ死ぬ僕の願いを聞いて欲しい

僕のやりたいことを手伝って欲しい
三途の川での初めての友達

なぜこんな得体の知れない奴の手伝いをしようと思ったのかオレも良くわからない
でも
違う もっと足上げろ!

死ぬ前に子供をかばったように
何か人のためにしたいとずっと思っていたのかもしれない

本当にできないんだな…
何が悪いのかオレも良くわからん
うーん…

でも時間はあるしね
また明日頑張ろう
おいオレを長期間拘束する気かよ

そういえばメシは?
いらないよ僕ら生きてないからお腹すかないよ
ええー…そんなもん?

なんで
スー
せまい

オレは今
ヤローと
三途の川で
寝ているんだ

そもそもなんで
こいつはずっと
こんな所に
いるんだ

どうせ現実に
戻りたくないから
スキップとか
適当な理由をつけて
選択を先延ばしに
してるだけだろ

20

結局
生きる勇気も
死ぬ勇気も
ないだけじゃないか

定価 本体1800円(税別)

で大学ではろくに学校も行かずに遊んでてさー
気付いたら単位足らなくてもー大変で
駄目人間だねコウイチ
そうだよ
高校の時も馬鹿だったし
お前高校生?
うん 17
若いなー好きな子とかいる?
えー?
コウイチは?
なんだよ
オレがきーてるの

3
1 2
8 9
16
22 23 24 25
29 30 31
28 29 30 31
努力はしてるのに上手くいかないのはどうしたもんかな
ユウー どこだー
ボリボリ
いない
また朝練に行ってるのか
…あ
朝か

えー？
寝てんの？

お前寝てたらオレやることないじゃん

はぁ
静か

あの日

君と出会った時も

こうやって考えていた

僕のお葬式に
来てくれる人はいるのかなぁって

もしかしたらもう僕のことを覚えている人は誰もいなくて
僕が今まで生きてきた人生も何もなかったことと同じになってしまうのかな

ユウ

25

オレが行ってやるから
心配すんなよ

多分
透けてる
けどな

ありがとう

一人じゃない
って素敵

よし今日も
地獄のスキップ
特訓いくぞ
ここは地獄の
一歩手前
だけどね！
うるせー

じゃあとりあえず
やってみろ
はーい

しかし
練習つっても
スキップなんて
気付いたら
できてたし
どう教えれば
いいんだ

幼い頃は楽しい時とか
自然にスキップ
できてたな…

あ

ユウ

スキップ
楽しかったこと
思い出して
やってみろ

27

楽しかった
こと…

放課後
夏休み
遠足
うんと小さい頃の思い出でもいいからさ
わくわくして待ち遠しくて走り出したくなるようなことがあれば自然とできるんだよ

ぼくのお母さん

料理が上手くていつも学校から帰るのが楽しみだった
休日は家族で色々な所に出かけて楽しかった
でも

もういない

え

あ
ユウ！
やったな!!

え？
ピクッ

あれ？

ユウ？
どこだ？

あれ
どうして
こんなに
音が気になるんだ
どうして
こんなに

32

心配しただろ
いきなり消えるから
向こう岸に
渡らなきゃ
ならなく
なったから
お別れを
言いに来た

ごめんね
急に

実は僕

……ユウ

行くな

帰るぞ
ユウ
生きる
覚悟をしろ
今ならまだ現実に
戻れるかも
しれないだろ？

オレはお前に会って
もう一度 人と関わって
生きてもいいかも
しれないと思えた
だからお前も
現実が嫌でも

コウイチ
ありがとう

でも僕の命は
もうすぐ尽きて
しまうから
行かないと

そんな簡単に
言うなよ
お前には心配する
家族だって
いるだろ…？

いや
違うよ
それは
君のほうだ

さっきまでも
そうだったんだけど
僕はたまに
現実に戻れる

現実の僕の
容態によって
引き戻されたり
するんだ

君が事故に
遭った日は

気が付くと
幽霊みたいな姿で
君の病室に立っていたよ

君は色んな管に
つながれて
眠っていて
君のお母さんは
君に覆い被さって
泣いていた

36

あの人
死んでしまう
のかな
僕が
代わって
あげられたらな

僕には
もう
誰も
いないから

そして衰弱により
昏睡状態に陥った僕が
今ここにいる

38

タッ

どこまでも
走ったよ

死にたかったことも
忘れて

歩くこと
走ること
花を摘むこと
水を掬うこと
石を投げること

僕の思った通りに動く
所作のひとつひとつが
尊くて

久しぶりに
生きた心地がして
この岸を彷徨ううちに
あの小屋にたどりついた

その時
思った

ここで
やりたいと
思うこと 全て
終えてから

この岸を
離れようと

本当に単純な
ことばかりだけど
僕にとっては
価値のあることだ
走って
スキップして
そして
何より

誰かと
話をすること

君がここに来た時
本当に嬉しかった

君が現実に戻る
つもりがないことに
つけこんで

自分の
自己満足に
君を
付き合わせたんだ

長い間
引き留めて
しまって
ごめんね

君を両親に
返さないと

ユウ
オレは
さっき
までね

僕が消えていたのは
現実に戻って
いたからなんだ
昨日 花畑の中で
お願いしてたから
コウイチに
会わせてください
って
死ぬ前にそれだけが
気掛かりだったから

君のケガは
治る
あとは君が目を
覚ますだけだよ

コウイチ
生きる覚悟は
できている?

行きつく場所はわからないけど

病院よりはマシかもしれないね

…どうして
お前は
何も
悪くない
のに

全てを
奪われて
苦しみだけが
残されて
ここでもう一度
生きようとしたお前が
また死なないと
いけないなんて……
お前はどうしたら
救われる…?

心配しないで
コウイチ
向こうにはきっと
家族がいる
そして世の中には
不条理なこともある
ということを
理解して飲み込めた
今は何も
怖くない

ぎゅっ

ただ…
最期にひとつ
お願いを
きいてくれる?

オレに
できることなら
なんだってする

ありがとう

僕の
やりたいことの
最後のひとつ

僕とダンスして

やっぱり変なこと言うな

喜びと
孤独の中で

本当に
死んでしまう
前に
ひとりでは
できないことを
したいと
思っていた

48

君と踊れば
僕はひとりでは
なかったことを
実感してから
死ねると思う

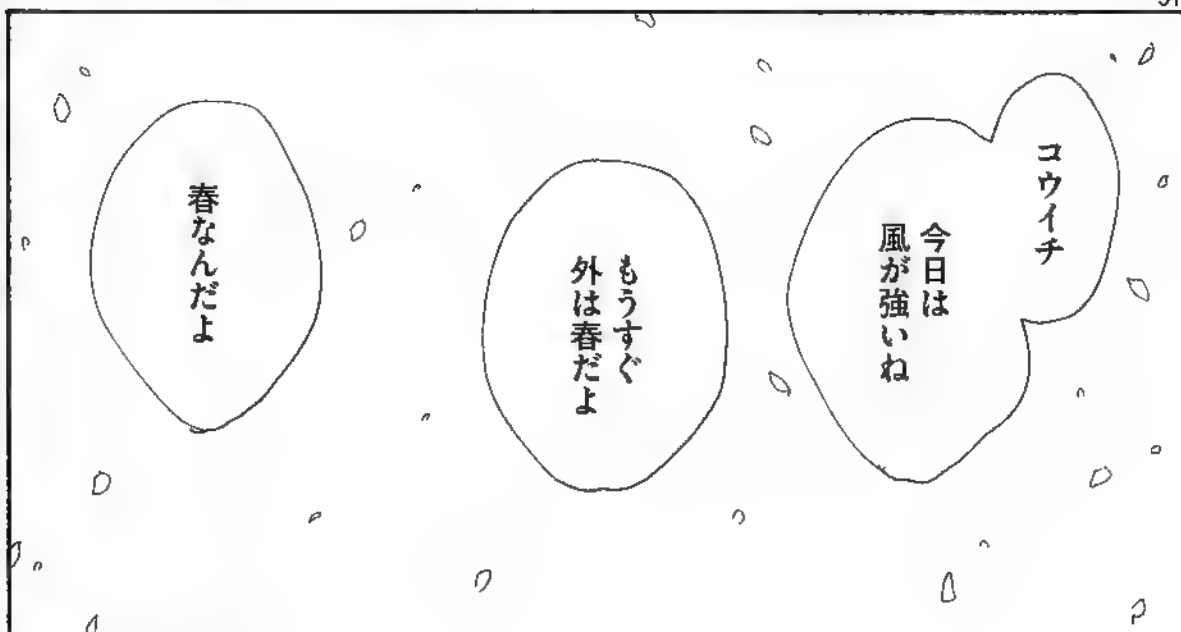
49

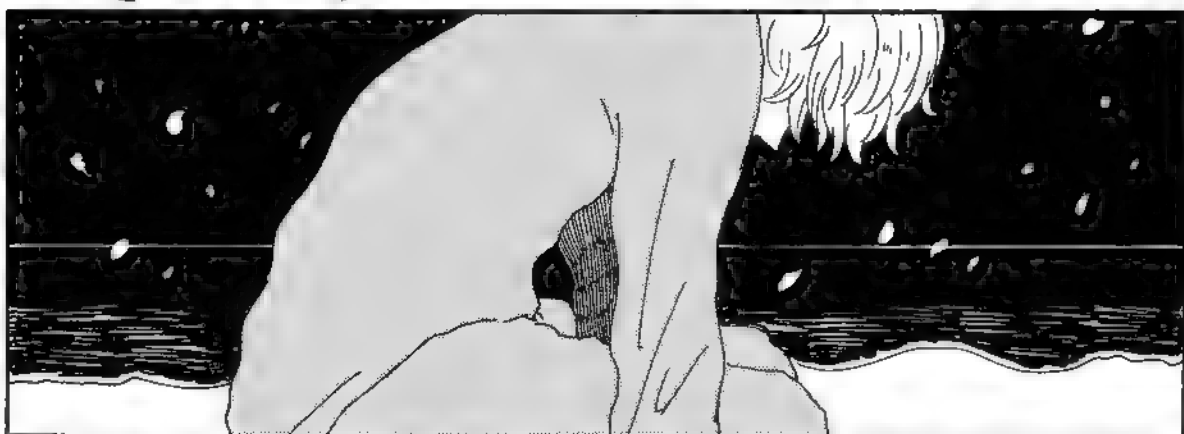
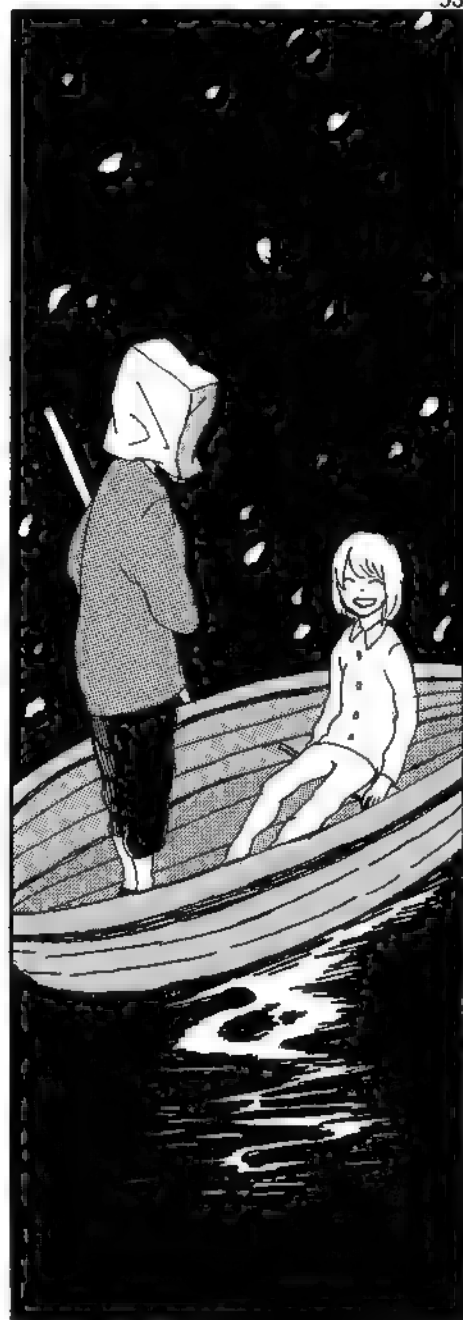
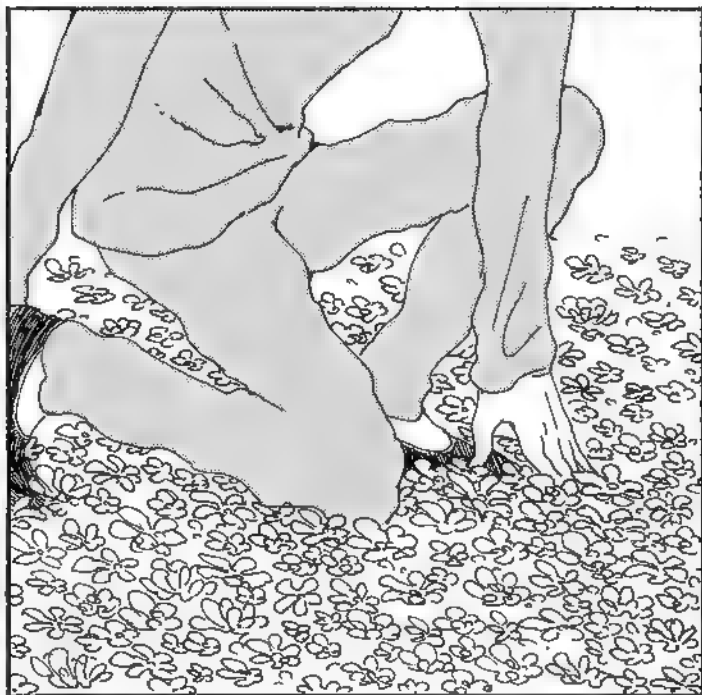
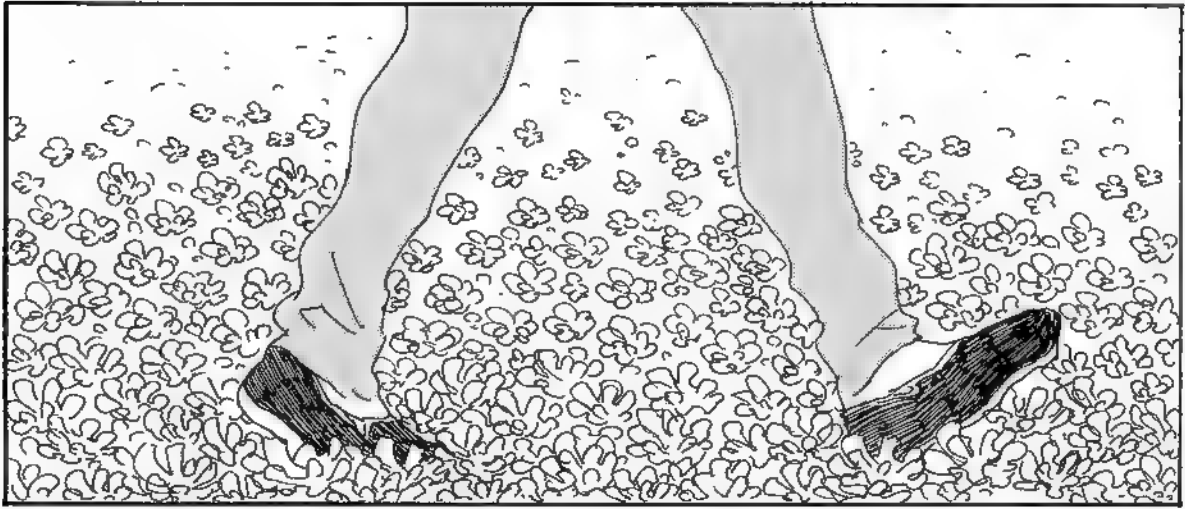
カラー付きで登場!! 木尾士目『げんしけん二代目』

次号2月号は12月25日金発売!!!

君が来てから僕はとても幸せだった
生まれ直したような気持ちだったよ

現実の僕はもう生きているとは言えなかったけど
今はすごく生きてるって実感してる

51

コウイチ
今日は風が強いね
もうすぐ外は春だよ
春なんだよ

祝・ドラマ化!! カラーで登場!!
『フラジャイル』
原作／草水敏
漫画／恵三朗
次号2月号
12月25日(金)発売!!

生と死の境で
オレはユウの姿を
見た気がした
それは多分
オレと出会う
前の姿で
ひとつひとつの
動作を
慈しみながら
花を摘んでいるが
世界に
自分ひとりで
あることに
深い絶望を
感じている
そんな姿
だった

オレは
ユウが失って
しまったものを
全て持っていて

持っているからこそ
色々なことを
あきらめようとしていた

頭が痛い
体が痛い
喉が渇いた
手が動く
おとーさん
コウイチが
コウイチが目を
生きている

またな
ユウ

三途の川でワルツを おわり